

I. 山形大学独自の取組

① 第2次男女共同参画基本計画に基づく行動計画と推進組織

①-1 | 目的・基本方針・令和3年度具体的施策(行動計画)

●第2次男女共同参画基本計画の施行について

山形大学は、平成22年に策定された山形大学男女共同参画基本計画（実施期間は令和元年度まで）により、男女共同参画推進委員会を中心に男女共同参画を推進してきた。この間、文部科学省「女性研究者支援モデル育成事業」（平成21～23年度）や「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」（平成27～令和2年度）の採択を経て、充実を図ってきた。平成30年度は、男女共同参画の現状を把握し、これまでの成果と課題を明らかにするために、「男女共同参画に係るアンケート調査」を実施した。そして、令和元年度に、男女共同参画推進委員会内にワーキンググループ（座長は河野銀子委員）を設置し、ワーキンググループ会議を3回開催して基本計画（案）を作成し、2回の男女共同参画委員会における検討を経て、山形大学男女共同参画基本計画（第2次）が策定され、令和2年4月1日に施行されることになった。

第2次基本計画は令和2年度から10年間を計画期間とし、男女共同参画に加えダイバーシティを一層推進することを目的に、基本方針及び具体的施策が定められた。第2次基本計画には、これまでの10年間の成果を踏まえ、我が国の男女共同参画に係る動向と国立大学協会における目標等に鑑み、基本方針及び具体的施策が掲げられている。女性教員比率や女性管理職比率についてはこれまで以上に高い目標を設定し、「無意識のバイアス」や性的指向・性自認等への配慮なども明記された。なお、第2次基本計画の策定に伴い男女共同参画推進に関する規定が改訂され、男女共同参画推進委員は各キャンパスから選出されることになった。

●目的

山形大学は、「男女共同参画社会基本法」（平成11年6月23日法律第78号）の理念に基づき、男女共同参画社会実現のために大学が担うべき役割と責任を自覚し、「山形大学男女共同参画推進宣言」（平成21年1月23日）を発表した。男女共同参画及びダイバーシティを一層推進し、本学の学生及び教職員が性別、性的指向・性自認等にかかわらず、あらゆる活動において個性と能力を発揮でき、かつ、学業・仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現することを目指し、具体的な施策の推進を図っていくため、ここに山形大学男女共同参画基本計画（第2次）（以下「基本計画」という）を定める。

●基本方針

目的の達成に向けて、本学の基本方針を次のとおり定める。

1. 教職員（教員及び職員）等の男女機会均等の実現・格差の是正
2. 教育・研究及び就労と家庭生活との両立のための環境作り
3. 男女共同参画及びダイバーシティに関する意見・要望等をくみ上げるシステムの整備
4. 男女共同参画及びダイバーシティへの意識改革の促進
5. 女性研究者（教員・後期博士課程学生・ポストドクター）の裾野拡大
6. 男女共同参画及びダイバーシティ推進のための教育・研究の充実
7. 男女共同参画及びダイバーシティに関する学内の調査・分析・統計等の情報提供
8. 男女共同参画及びダイバーシティに取り組む地域社会等との連携

●令和3年度具体的施策（行動計画）

【教職員等の男女機会均等の実現・格差の是正】

<全学>

- 1) 女性教員比率の向上
 - ・雇用機会均等法によると女性の割合が4割を下回っている場合、男女格差が存在していると判断される。本学においても女性教員比率を引き上げるとともに、格差の是正に努める。
 - ・令和11年度までに、大学全体の教授の女性比率は15%以上、准教授は23%以上、女性教員比率は20%以上の達成を目指す。
 - ・上記の目標を達成するため、必要な改善措置等を男女共同参画推進室を中心に各キャンパス等においても具体的に検討し、その達成状況を毎年点検する。
- 2) 大学経営における女性参画の拡大
 - ・令和11年度までに、役員、副学長、部局長、経営協議会委員、教育研究評議会評議員は、20%以上の達成を目指す。
 - ・女性教職員の人材育成のため積極的な方策を推進し、管理職比率の向上に向けた登用等を積極的に行う。
- 3) 男女格差是正のためのチェック機能の導入
 - ・教職員の採用や昇進、研修機会において、積極的な改善策がとられているか、また、業績評価において、性別による差別等がないか、無意識のバイアスに配慮し、積極的な改善策がとられているかを定期的に点検する。

<キャンパス>

小 白 川 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・研究環境の整備に努め、助成等の支援体制についても、積極的に周知していく。 ・女性教員の活躍状況や男女雇用機会均等法等の取組状況を、公募やHP等へ掲載する。 ・各種運営業務や管理的業務へ女性教員の登用を、男女比率も配慮しながら継続する。
飯 田 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・女性教員の比率20%以上を維持する。 ・24時間保育所及び病児保育室の円滑な運営を通して、女性が働き続けられる環境の整備を行う。 ・性別による優遇措置はとらないが、管理職として適切な人材を登用することにより、積極的に女性教員の活用を図っていく。
米 沢 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・学部長記者懇談会において、女性教員による研究発信コーナーを設け、各月の記者懇談会で研究成果の発表を行うことで、活躍ぶりを広く社会にPRする。
鶴 岡 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・研究分野を考慮しながら、女性教員比率を引き上げるための採用計画を実施する。
附 属 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県教育委員会と連携し、校長・教頭への女性教員の登用を積極的に推進する。 ・主幹教諭や教務主任、学年主任、主事等への女性教員の登用割合を維持又はそれ以上となるように努める。

【男女共同参画及びダイバーシティへの意識改革の推進】

<全学>

- ・個々の性別、性的指向・性自認にかかわらず、本学の学生及び教職員が自然にお互いを認め、受け入れることができる組織を目指す。
- ・教職員や学生を対象とするシンポジウムやセミナー、男女共同参画フェスタ等を定期的で開催する。
- ・女性研究者ネットワークを構築し、定期的な勉強会等を開催する。
- ・学長・学部長と女性研究者との懇談会を定期的で開催する。
- ・ホームページ、男女共同参画ニューズレター等による学内外への情報発信を強化する。

<キャンパス>

小 白 川 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスで主催の関連する研修会等への参加及び支援を行い、意識を高める。 ・男女共同参画に関するHPや広報誌などを活用し、正確な情報を提供するとともに育休取得など、積極的に支援を行う。 ・会議等へのリモート参加など、積極的な意識改革を推進する。
飯 田 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部学生を対象にしたキャリアパスセミナーにおいて、男女共同参画に関する内容を更に充実させる。 ・山形県、山形県医師会、女性医師ネットワークと緊密な連携をとり、男女共に参加できる男女共同参画の企画を進める。 ・総合医学教育センター、高度医療人研修センターが中心となって女性医師・看護師が切れ目なく働き続けられるよう援助する。
米 沢 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点に基づいた、ハラスメント防止研修会を実施する。
鶴 岡 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員においては、男女共同参画推進室の企画事業への参加を積極的に促す。
附 属 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・各校園長等が、校内研修会等において、オンライン教材（動画等）や資料等を用い教職員に対し講義等を行い、LGBT等に対する情報を周知することで、LGBT等に対する理解を深める。また、大学において制定されたLGBT等対応ガイドラインの周知に努める。

【男女共同参画及びダイバーシティ推進のための女性研究者の裾野拡大】

＜全学＞

- ・専門分野を活かした職業に就いている女性卒業生等を招いた講演会や交流会等を、各キャンパス等で定期的を開催する。
- ・女子中高生向けのセミナー等を開催する。
- ・女性学生の研究活動の活性化のためにネットワーク活動を支援する。

＜キャンパス＞

小 白 川 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・女性教員の活躍を身近に感じてもらい研究職の魅力を伝え、職業選択の一つとして認識してもらえよう、出張講義等への女性教員の参加の機会を積極的に支援する。 ・アカデミックキャンプなども活用し、女性研究者（卒業生を含む）の活動内容の広報に努める。
飯 田 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年度までの事業をさらに充実させる。 ・24時間保育、病児保育など子育てと研究が両立する環境を生かし、多くの研究者等を受け入れる。 ・附属病院に勤務している職員の大学院進学の学費サポートを開始予定。
米 沢 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に教員採用予定の、「英語教育・異文化理解に関連した分野」及び「キャリア教育（留学生）分野」において、女性教員を優遇する公募を実施する。
鶴 岡 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパス等のイベントを利用して、女子高生向けの情報を提供し、活動していく。
附 属 学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・本学が採択された「女子中高生理系進路選択支援事業」を附属中学校において積極的に活用する。

【その他】

＜全学＞

- ・両立のための環境作り、意見・要望等をくみ上げるシステム、教育・研究の充実、男女別統計等の分析・情報提供、地域社会等との連携など

＜キャンパス＞

小 白 川 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・研究や教育、学部運営業務全般について、テレワーク等を実施し、問題点等を検討し、効率化を進める。 ・育児休業からの復帰のサポートなど、家庭との両立や各種研修時のサポートを行う。 ・懇談会や講演会などを企画し、意見・要望等、情報交換の機会を設ける。
飯 田 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部管理運営委員会において検討し、関係する各事業を通じて推進していく。
米 沢 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院改組に主眼をおいた進学説明会を実施し、女子学生の大学院進学率を向上させる。
鶴 岡 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスの課題の共有や育児休業や介護休業などの各種制度や取りやすい環境整備、ならびに、男女共同参画の取組に関する情報交換に努める。
附 属 学 校	なし

1-2 男女共同参画推進委員会委員名簿と委員会議事

令和3年4月1日現在

委員名	氏名	備考
第1号委員	花輪公雄	委員長
	飯塚博	副委員長
第2号委員	河野銀子	理事特別補佐
第3号委員	本多薫	小白川キャンパス
	齋藤貴史	飯田キャンパス
	野々村美宗	米沢キャンパス
	塩野義人	鶴岡キャンパス
第4号委員	藤岡久美子	令和2年4月1日～再任
	櫻田香	令和2年4月1日～再任
	宮瑾	令和2年4月1日～
	佐々木由佳	令和3年4月1日～
第5号委員	高橋正敏	総務部長
第6号委員	沼澤利光	研究部長
第7号委員	牧野直彦	保健管理センター所長

【参考】

第2次山形大学男女共同参画基本計画の施行に伴い、第3号委員・第4号委員が改正された。

- ① 第1号委員：学長が指名する理事
- ② 第2号委員：担当理事が指名する理事特別補佐
- ③ 第3号委員：各キャンパス長が当該キャンパス内の副学部長の中から推薦する者
各1人
- ④ 第4号委員：山形大学学術研究院規程第8条第1項に基づく主担当教員として各キャンパス内に配置された女性教員の中から各キャンパス長が推薦する者
各1人
ただし、女性教員が困難な場合は、男性教員とすることができる。
- ⑤ 第5号委員：総務部長
- ⑥ 第6号委員：研究部長
- ⑦ 第7号委員：その他委員長が必要と認めた者

令和3年度第1回男女共同参画推進委員会議事

令和3年5月21日（金）14:15～15:30

法人本部第1会議室（3階）

（リモートオンライン）

1 協議事項

（1）第2次山形大学男女共同参画基本計画について

- ① 令和3年度の年度計画（全体計画）について

- ② 令和3年度年間事業計画について
 - ③ 第2次山形大学男女共同参画基本計画の達成状況に関するアンケート調査について
 - ④ 男女共同参画セミナー開催要項について
 - ⑤ 女性大学院生ネットワークについて
 - ⑥ 多様な性に関するガイドラインについて
- (2) 各キャンパスの年度計画について
「山形大学男女共同参画基本計画」に関する評価及び課題（各キャンパス）
- (3) その他

2 報告事項

- (1) 山形大学男女共同参画推進に関する規程・米沢分室規程
- (2) 令和3年度室員・委員・スタッフ
- (3) 令和2年度事業報告について
 - ① ダイバーシティ研究環境イニシアティブ事業について
 - ② 山形大学独自の事業について
 - ③ 小白川キャンパス保育所について
- (4) 各部局の女性教員数の状況について
- (5) 女性教員数の目標達成状況について
- (6) 令和3年度以降の各種支援制度について
- (7) ダイバーシティ研究環境イニシアティブ事業終了後の緩やかな連携について
- (8) 令和3年度「キャリア形成とワークライフバランス」講師について
- (9) その他

令和3年度第2回男女共同参画推進委員会議事

令和3年9月28日（火）13:00～14:15

法人本部第1会議室（3階）

（リモートオンライン）

1 協議事項

- (1) 男女共同参画アンケート 分析について
- (2) 事業計画の変更について
- (3) その他

2 報告事項

- (1) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）事後評価成果報告書の提出

- (2) 各キャンパスより年度計画にかかる取組の中間報告
- (3) 新任者と語るワークライフバランス オンラインミーティング
- (4) 各種支援
- (5) 女性研究者の裾野拡大
- (6) 多様な性に関するガイドライン研修
- (7) その他

令和3年度男女共同参画推進委員会議事（書面会議）

令和3年12月27日（月）

1 協議事項

- (1) 研究支援員制度について
- (2) 女性研究者の集いについて
- (3) 生理用品無償配付について

令和3年度第3回男女共同参画推進委員会議事

令和4年1月28日（金）13:00～14:00

法人本部役員会議室（3階）

（リモートオンライン）

1 協議事項

- (1) 男女共同参画基本計画（第二次）に係る男女共同参画アンケート
- (2) 学会参加時の保育・介護支援制度
- (3) 各種保育利用補助制度
- (4) 研究支援員制度
- (5) 女性研究者の集い
- (6) IV期中期目標
- (7) 女性活躍推進法に基づく行動計画
- (8) 山形大学の次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の策定について
- (9) 多様な性に関するガイドライン
- (10) 令和4年度男女共同参画セミナー講師 令和4年6月開催

2 報告事項

- (1) 各種統計データ 1 / 1 時点
- (2) 女性管理職への支援（試行）
- (3) 米沢キャンパス
- (4) 女性・若手研究者研究交流会
- (5) 学長・学部長と女性懇談会
- (6) 女子中高生理系進路選択支援事業 全体報告会 1 / 10（祝月）
- (7) 生理用品無償配布 1 / 11（火）～2 / 10（木）

その他

- (1) 各キャンパスの令和3年度の評価及び課題（各キャンパスの対応）
- (2) 各キャンパスの令和4・5年度の取組（各キャンパスの目標設定）
- (3) 種々のパンフレットの変更（連絡先など）
- (4) 「女性活躍に向けた北海道・東北地方新潟・県知事宣言～輝く女性 ほくとう宣言～」

令和3年度男女共同参画推進委員会議事（書面会議）

令和4年2月24日

1 協議事項

- 1 山形大学男女共同参画推進に関する規程の一部改正（案）について
- 2 山形大学男女共同参画推進室米沢分室規程の一部改正（案）について

【改正点】男女共同参画推進室がダイバーシティ推進室に移行することに伴う変更

■参考資料 国立大学法人山形大学戦略本部規程等の制定及び一部改正について

令和3年度男女共同参画推進委員会議事（書面会議）

令和4年3月15日

1 協議事項

- (1) 令和4年度山形大学男女共同参画基本計画（第2次）に基づく年度計画と達成目標
- (2) 令和4年度山形大学男女共同参画及びダイバーシティ関係の事業計画

①-3 | 男女共同参画推進室員名簿と室ミーティング議事

室 員	氏 名	備 考
室 長	花 輪 公 雄	理事（総務担当）
副 室 長	飯 塚 博	理事（研究担当）
理 事 特 別 補 佐	河 野 銀 子	学術研究院 教授
主担当教員（チーフ・コーディネーター）	柿 崎 悦 子	男女共同参画推進室准教授
担当教員（サブ・コーディネーター）	山 本 美 奈 子	男女共同参画推進室准教授
室 員	高 橋 正 敏	総務部長
室 員	菅 井 和 明	総務部労務課長
室 員	馬 場 智 明	研究部研究推進課副課長
室 員	田 苗 友 希	男女共同参画推進室事務室員

令和3年4月1日現在

第1回男女共同参画推進室ミーティング議事

令和3年4月8日（木）13:30～14:30

法人本部第2会議室（4階）

1 協議事項

- （1） 第2次山形大学男女共同参画基本計画について
- （2） 各キャンパスの年度計画について
- （3） その他

2 報告事項

- （1） 山形大学男女共同参画推進に関する規程・米沢分室規程
- （2） 令和3年度室員・委員・スタッフ
- （3） 令和2年度事業報告について
- （4） 令和3年度「キャリア形成とワークライフバランス」講師について
- （5） 令和3年度以降の各種支援制度について
- （6） 多様な性に関するガイドラインについて

3 資料

- （1） 各部局の女性教員数の状況
- （2） 目標達成状況

第2回男女共同参画推進室ミーティング議事

令和3年5月13日(木) 14:00~15:00

法人本部第2会議室(4階)

1 協議事項

- (1) 令和3年度男女共同参画関係の事業計画(案)
- (2) 男女共同参画アンケート
- (3) 男女共同参画セミナー
- (4) 女性大学院生ネットワーク(JOIN)の募集
- (5) 多様な性に関するガイドライン
- (6) 男女共同参画推進委員会(5月21日(金))の次第について

2 報告事項

- (1) 女性教員比率の向上
- (2) 女性参画の拡大
- (3) 研究継続支援員制度
- (4) 各種保育利用料補助制度の活用
- (5) 女子中高生理系進路選択支援事業
- (6) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業(連携型)終了後の緩やかな連携

3 その他

- (1) 11月予定のシンポジウムはCOI(センター・オブ・イノベーション)と共催の予定
- (2) 山形県男女共同参画推進センター チェリアフェスティバルへ参加予定10月3日(日)

第3回男女共同参画推進室ミーティング議事

令和3年8月6日(金) 14:00~15:00

法人本部第1会議室(3階)

1 協議事項

- (1) 男女共同参画アンケート 分析についての分担について
- (2) 第2回男女共同参画推進委員会の開催について

2 報告事項

- (1) 男女共同参画アンケート 進捗状況(アンケートの回収率)
- (2) 新任者と語るワークライフバランス オンラインミーティング
- (3) 各種支援について

- (4) 女性研究者の裾野拡大 山大JOIN
- (5) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（連携型）最終報告書
成果報告書提出 9月2日（木）／面接審査 1月6日（木）又は7日（金）
- (6) 多様な性に関するガイドライン 研修について

3 その他

- (1) 山形県男女共同参画推進センター チェリアフェスティバルへ参加予定
- (2) COIとの共催シンポジウム
- (3) 米沢分室会議 11月～12月に開催予定

第4回男女共同参画推進室ミーティング議事

令和3年12月20日（月）13:00～14:10

法人本部第1会議室（3階）

1 協議事項

- (1) 男女共同参画基本計画（第二次）に係る男女共同参画アンケート
- (2) 女性研究者の集い
- (3) 研究支援員制度
- (4) 学会参加時の保育・介護支援制度
- (5) 各種保育利用補助制度
- (6) IV期中期目標
- (7) 女性活躍推進法に基づく行動計画
- (8) 山形大学の次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の策定について
- (9) 多様な性に関するガイドライン
- (10) 令和4年度男女共同参画セミナー講師

2 報告事項

- (1) 各種統計データ
- (2) 女性管理職への支援（試行）
- (3) 米沢キャンパス
- (4) 女性・若手研究者研究交流会
- (5) 学長・学部長と女性懇談会
- (6) 女子中高生理系進路選択支援事業
- (7) 生理用品無償配布 1/11（火）～EM部学生支援課と連携

3 その他

- (1) 各キャンパスの令和3年度の評価及び課題
- (2) 各キャンパスの令和4・5年度取組
- (3) 第3回推進委員会 1月28日(金) 13:00~14:00
- (4) 室ミーティング 推進委員会の前にアンケートについて
- (5) 種々のパンフレットの変更(連絡先など)
- (6) 「女性活躍に向けた北海道・東北地方新潟・県知事宣言~輝く女性 ほくとう宣言~」

第5回男女共同参画推進室ミーティング議事

令和4年1月24日(月) 15:30~16:30

法人本部第1会議室(3階)

1 協議事項

- (1) 男女共同参画基本計画(第二次)に係る男女共同参画アンケート

2 報告事項

- (1) 各種統計データ 1/1時点
- (2) 生理用品無償配布
- (3) 研究支援員制度
- (4) 女性研究者の集い

第6回男女共同参画推進室ミーティング議事

令和4年3月8日(火) 14:00~14:30

法人本部第1会議室(3階)

1 協議事項

- (1) 令和4年度 年度計画と達成目標
- (2) 令和4年度 事業計画

2 報告事項

- (1) 各種統計データ
- (2) 女性研究者の集い
- (3) 刊行物
 - ①ニュースレター30号
 - ②男女共同参画報告書

3 その他

- (1) 男女共同参画推進委員会への提案・協議

①-4 | 男女共同参画推進室米沢分室員名簿と分室会議議事

室 員	氏 名	備 考
分 室 長	中 島 健 介	米沢キャンパス長
副 分 室 長	野々村 美 宗	副学部長（第3号委員）
主担当教員(チーフ・コーディネーター)	柿 崎 悦 子	男女共同参画推進室准教授
副 担 当 教 員	宮 瑾	学術研究院准教授（第4号委員）
副 担 当 教 員	Jiptner Karolin	学術研究院 助教
室 員	金 生 周 篤	米沢キャンパス事務部長
室 員	阿 部 賢 二	米沢キャンパス事務部総務課長
室 員	田 苗 友 希	(庶務担当係長 兼務)

令和3年4月1日現在

第10回男女共同参画推進室米沢分室会議議事

令和3年6月16日（水）14:30～15:35

法人本部・米沢キャンパス（オンライン）

1 報告事項

- (1) 令和3年度第1回男女共同参画推進委員会
- (2) 令和2年度ダイバーシティ事業
- (3) 山形大学COIとの連携
- (4) その他

2 協議事項

なし

3 その他

①-5 | 男女共同参画推進室活動記録

- 4月1日 新室長着任、研究者に研究支援員を配置、小白川キャンパス保育所の運営を小白川キャンパスに移管
- 4月8日 第1回室ミーティング開催
- 4月21日 新任研究者対象「研究支援制度」利用者の決定、推進室スタッフ会議（以降毎週開催）
- 4月23日 第11回カラフルカフェに参加
- 4月24日 チェリアフェスティバル山形2021第1回実行委員会に参加
- 4月28日 「国立大学法人山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学によるダイバーシティ研究環境の推進に関する協定」調印
- 4月30日 各種保育料利用料補助制度登録受付開始
- 5月13日 第2回室ミーティング開催
- 5月17日 令和3年度研究継続支援員決定通知
- 5月21日 第1回男女共同参画推進委員会開催
- 5月29日 チェリアフェスティバル山形2021第2回実行委員会に参加
- 6月2日 学長・学部長と女性研究者との懇談会・女性研究者（理系）裾野拡大セミナーの実施依頼
- 6月8日 山形県立山形西高等学校講演会 講師：柿崎悦子准教授、山大OG
- 6月9日 多様な性に関するガイドラインの学内配布
- 6月16日 米沢分室ミーティング開催（Zoom）
- 6月28日 山形大学男女共同参画セミナー&南東北会議研修会 講演：大隅典子氏（東北大学副学長）
- 6月29日 アンケート実施依頼のため医学部訪問
- 7月1日 米沢市副市長訪問
- 7月2日 男女共同参画アンケート実施依頼通知
- 7月16日 全国ダイバーシティネットワーク組織臨時幹事会、男女共同参画アンケート締め切り日
- 7月26日 男女共同参画アンケート締め切り日（延長）
山形県立米沢興譲館高等学校出前講座 講師：黒谷玲子氏（工学部准教授）、山大JOIN
- 7月28日 第1回米沢キャンパスキャリア・就職活動セミナー（Zoom） 講演：柿崎悦子准教授
- 7月29日 新任者オンラインミーティング（事務職員、教員）
- 7月30日 大学コンソーシアムやまがた山形 幹事会（Zoom）
- 8月2日 第2回COI社会実装会議（Zoom）
- 8月5日 大学コンソーシアムやまがた総会（Zoom）、3機関連携の米沢栄養大学における外部資金に係るセミナー 講師：今村真央氏（人文社会科学部教授）
- 8月6日 第3回室ミーティング開催
- 8月18日 西置賜倫理法人会講演 講演：柿崎悦子准教授
- 8月21日 チェリアフェスティバル山形2021第3回実行委員会に参加
- 9月1日 山形県立山形北高校講演会 講演：柿崎悦子准教授、山大JOIN
- 9月2日 山形県若年女性県内就職・定着協議会 委員：柿崎悦子准教授
- 9月10日 多様な性に関するガイドラインに関する障がい学生支援センター研修（室スタッフ）
- 9月17日 山形大学男女共同参画推進室ニューズレター（第29号）発行
- 9月28日 第2回男女共同参画推進委員会開催
- 10月2日 チェリアフェスティバル2021サイエンス・カフェ 講師：河合寿子氏（山形大学助教）、

野村真未氏（理学部助教）、山大JOIN

- 10月 3日 チェリアフェスティバル山形2021に参加 講演会 講演：白河桃子氏（相模女子大学大学院特任教務、昭和女子大学客員教授）
- 10月 6日 キャリア形成とワークライフバランス授業開始（以降2月まで15回実施）
- 10月13日 リコチャレネットワーク会議に参加（Zoom）
- 10月22日 大学コンソーシアムやまがたダイバーシティ推進ネットワーク会議
- 10月23日 チェリアフェスティバル山形2021第4回実行委員会に参加
- 10月25日 YU-SDGsカフェ「ジェンダー」スピーカー：柿崎悦子准教授
- 11月 1日 全国ダイバーシティ東北ブロック会議に参加
- 11月 4日 米沢倫理法人会講演 講演：柿崎悦子准教授
- 11月 8日 小白川キャンパス学長・学部長とのワークライフバランス 講演：柿崎悦子准教授
- 11月16日 全国ダイバーシティ幹事会に参加
- 11月18日 第2回米沢キャンパスフレックス大学院キャリア・就職活動セミナー（Zoom）
- 11月19日 国際ソロプチミスト山形 山形クラブ賞授賞式 中村文子氏（人文社会科学部准教授）
- 11月25日 東北活性県山形シンポジウム パネリスト：柿崎悦子准教授
- 12月 3日 多様な性に関するガイドラインに関するチェリア相談実務者研修会（室スタッフ）
- 12月 4日 山形大学模擬裁判講演 ～同性婚訴訟、あなたはどうか考える？～ に協力
- 12月 8日 全国ダイバーシティシンポジウム 講演：曾和信子氏（日本IBM株式会社執行役員）
- 12月11日 全国ダイバーシティ東北ブロック勉強会 講演：山口一男氏（シカゴ大学教授）
山形県立山形北高校保護者対象講演会 動画配信～12月20日 講演：柿崎悦子准教授
- 12月15日 鶴岡キャンパス「学長・学部長と女性研究者との懇談会」（一部Zoom）
- 12月16日 SDGsカフェ 女性・若手研究者研究交流会（Zoom）
- 12月20日 第4回室ミーティング開催
- 12月21日 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）PO訪問調査
- 12月23日 カラフルカフェin米沢
- 12月24日 生理用品無償配布（紫苑寮）
- 12月27日 男女共同参画推進委員会書面報告
- 1月 7日 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事後評価面接審査
- 1月10日 JST女子中高生理系進路選択発表全体発表
- 1月11日 全キャンパス生理用品無償配布開始 2月10日まで
- 1月21日 山形大学男女共同参画推進研修会 講演：秋月弘子氏（亜細亜大学国際関係学部教授、
国連女性差別撤廃委員会委員）
- 1月24日 第5回室ミーティング開催
- 1月28日 第3回男女共同参画推進委員会開催
- 2月20日 天童市民の集いサイエンス・カフェ 講師：野村真未氏（理学部助教）、山大JOIN
※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
- 2月25日 山形大学男女共同参画推進室ニューズレター（第30号）発行
- 3月 2日 やまがた女性活躍応援連携協議会（委員：柿崎悦子准教授）
- 3月28日 山形大学男女共同参画報告書発行

② 活動報告

②-1 | 意識改革

(1) 山形大学男女共同参画セミナー

日 時：令和3年6月28日(月) 15:00～17:00

場 所：小白川キャンパス法人本部第1会議室

(Zoomによるオンライン配信)

参加者数：約50名

講 師：東北大学副学長 大隅典子氏

『ダイバーシティの次のステージに向けて』をテーマに、大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」、全国ダイバーシティネットワーク組織東北ブロック南東北会議と共催し、セミナーを開催した。

講演は、「東北地区のダイバーシティを推進するために～ネットワークによる女性研究者の活躍促進～」と題し、大隅典子氏（東北大学副学長）にオンラインでご講演いただいた。

冒頭に金子みすゞの「私と小鳥と鈴と」の詩に触れられ、人生を歩む原点となられたとの話から始まり、女性の活躍推進について、女性の能力が活かされていない現状や初等中等教育現場でのバイアス感の存在、社会に出てからも、企業入社後の数年間の中で女性がリーダーに登用されない現状についてお話しになった。

これらの現状分析から、ロールモデルの必要性、裾野拡大の重要性があるということや、サステイナブルな男女共同参画を推進していきたいということ、また、研究力向上のために女性に参加してもらおうことやリーダーの育成についての話もあった。

講演の終わりに、アメリカ合衆国大統領を支えるメンバーを示され、意思決定にかかわる女性を増やすと同時に、サポーターの男性も増やすことにも言及された。

セミナー参加者からは、実践事例が大変参考になった、詳細なデータからの分析により現状の問題点がわかった、今後の取り組みの参考となった、無意識のバイアスの問題は深刻だ、などの感想があった。

また、このセミナーの様子は、大隅先生のご厚意により、学内の教職員の研修用にオンデマンドとして配信した。

主催：国立大学法人山形大学
共催：大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」
全国ダイバーシティネットワーク組織東北ブロック
南東北会議 研修会を兼ねて開催

男女共同参画セミナー

ダイバーシティの次のステージに向けて

東北地区のダイバーシティを推進するために～ネットワークによる女性研究者の活躍促進

講師 東北大学 副学長 大隅 典子 氏
東北医科歯科大学歯学部准、歯学博士、1998年より東北大学大学院医学系研究科教授、2006年より東北大学学長特別補佐、2018年より現職副学長。

対象 教職員、学生、行政・企業の方、関心のある方
全国ダイバーシティネットワーク組織東北ブロックに公開します。

日時 令和3年6月28日(月) 15:00～17:00

場所 Zoomによるオンライン配信
会場参加は関係者のみとさせていただきます。
(山形大学小白川キャンパス法人本部第1会議室)

申し込み方法
申し込みフォームで受け付けます。
申し込み締切り 令和3年6月18日(金)

山形大学男女共同参画推進室
TEL 023-628-4937・4939 Email y-danjo@im.kiyamagata-u.ac.jp
詳細はHP参照 http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/

図1 チラシ



図2 セミナーの様子

(2) 学長・学部長と女性研究者との懇談会等

●学長・学部長と教職員等とのワークライフバランス研修会

主催：小白川キャンパス（地域教育文化学部担当）

日時：令和3年11月8日（月）15:00～16:00

※研修会後に研修会動画配信を実施。

場所：Zoom開催

（Zoomホスト：地域教育文化学部1号館2階大会議室）

参加者：小白川キャンパス教職員61名（内女性研究者19名）（学長、理事、人文社会科学部9名、地域教育文化学部20名、理学部12名、学士課程基盤教育機構10名、その他事務職員等8名）、

配信動画視聴者17名

内容：

男女共同参画推進室の柿崎先生を講師に迎え、Zoomによる研修会を実施した。

はじめに、本学におけるワークライフバランスの取組みについて講演いただいた後、参加者から、女性研究者のワークライフバランスの現状及び男女共同参画推進室の取組みについての要望等の発言や、事前アンケート結果の報告を行った。

また、担当の花輪理事からは参画室として研修会のアンケート等を踏まえて対応を検討していく旨の話があった。学長からは業務の内容、リーダーの養成等、将来的な見通しを持って対応していく旨の話があった。

●学長・学部長と女性研究者との懇談会

主催：鶴岡キャンパス（農学部担当）

日時：令和3年12月15日（水）13:30～14:30

場所：農学部会議室（農学部1号館2階）

内容：

懇談会には、玉手学長、花輪理事、村山秀樹農学部長のほか、本学部の女性教員および男女共同参画推進室の職員等13名が参加し、女性研究者の職場環境改善に向けて自由に意見交換した。

新たに本学部採用された教員も複数参加し、他大学の男女共同参画に関する取組みの紹介も交えながら、日頃感じている問題点や要望について話し合った。近年、女性教員の採用が増加する中で、着任後の支援の充実や、大学院生も含めた女性研究者の学部を越えたコミュニティの形成の必要性についてなど、今後の課題となるような意見が多数話し合われ有意義な懇談会となった。



図3 研修会の様子



図4 懇談会の様子

(3) 新任者と語るワークライフバランス懇談会

日 時：【事務職員】令和3年7月29日（木）14:30～15:30

【教 員】 同 日 16:00～17:00

場 所：小白川キャンパス法人本部第1会議室（対面とZoomによるオンライン配信併用）

参加者数：【事務職員】9名

【教 員】7名

令和3年4月1日以降採用の教職員を対象に、最近不安に思うことや悩んでいることを互いに語り合いワークライフバランスを回復するためのオンラインミーティングを開催した。

事務職員・教員それぞれの悩みに対応できるよう二部構成とし、また、コロナ禍の感染対策として、小白川キャンパスの教職員は会議室の対面で、その他のキャンパスはオンラインでの参加となった。

前半の事務職員の会では、冒頭に室長の花輪理事から挨拶の後、総務部長、労務課担当者、チーフ・コーディネーターの柿崎先生、サブ・コーディネーター山本先生から、参加者の事前アンケートに寄せられた意見や要望への説明があった。

参加者からは、同期と交流を深めたいがコロナ禍で会える機会がなく困っているとの意見が最も多く、出席者から、業務上であっても上司の理解が得られ時間が許すようであれば直接他部署へ足を運んでみる、同期の集まりを少人数で企画する等、工夫して会える機会を作ってみてはどうかとのアドバイスがあった。

後半の教員の会では副室長の飯塚理事も出席し、学生指導や授業運営等の悩みに対し、出席の各先生方から、これまでの教員生活に基づく現場の経験を踏まえた貴重なお話を伺うことができた。

事後アンケートでは、「大学組織、研修・福利厚生の制度を知ることができた」、「なかなか会えない同期の職員と顔をあわせることができた」、「知りたい情報が得られた」、「ネットワークを形成することができた」等、有意義な会であったとの意見があった反面、「対面とオンラインの併用であり参加者同士の双方向的な会話が難しく交流を深めるまでには至らなかった」との声もあり、オンラインで開催することの難しさが浮き彫りとなった。



図5 懇談会の様子



(4) 小白川キャンパス男女共同参画研修会（連携）

主 催：小白川キャンパス（人文社会科学部担当）

日 時：令和4年1月21日（金）15:00～16:30

場 所：Zoom開催

参加者数：約140名

講 師：亜細亜大学国際関係学部教授 秋月弘子氏

1月21日、亜細亜大学国際関係学部教授で、現在、国連女性差別撤廃委員会の委員をされている秋月弘子先生をお招きし、男女共同参画推進研修会をオンラインで開催した。秋月先生は、国際法の研究者でいらっしゃると同時に、国連開発計画(UNDP)、国連人権センター、国連貿易開発会議など国連関係の機関で勤務されたご経験もお持ちである。

研修会では、秋月先生に「女性差別撤廃条約から見た日本のジェンダー平等の現状と課題」というテーマでご講演いただいた。世界経済フォーラムが公表したジェンダーギャップ指数2021において、わが国は150カ国中120位、とりわけ経済、政治分野のスコアの低さが指摘されている。また第5次男女共同参画計画においては、「指導的な地位に就く女性の割合」について「2020年代の可能な限り早期に30%」と、第4次計画のような「20年に30%」といった明確な年限は設けず、さらに「選択的夫婦別氏」の文言もなくなったといった注視すべき点を挙げていただいた。

こうした現状を踏まえつつ、女性差別撤廃条約(条約本体の締約国は189カ国)に基づく義務として、固定化された男女役割分担概念の変革のため、法の平等にとどまらない「事実上の平等」、個人、団体、企業による社会慣習・慣行の中での差別の廃止を求める委員会の活動をご紹介いただいた。委員会は、締約国に対しおおそ4年ごとに、条約の実施のための立法上、司法上、行政上その他の措置、およびこれらの措置によってもたらされた進歩に関する報告を要請している。報告に基づく委員会からの質問・締約国の回答、委員会・締約国の建設的対話を経て、委員会より締約国に対し勧告が出される。2016年のわが国に対する勧告においては、家父長制に基づく考え方や家庭・社会における男女の役割と責任に関する根深い固定観念が残っていることに照らし、このような役割分担を補強する社会規範を変える取組みの強化、民法の夫婦の氏を選択に関する法規定の改正、女性が多い非正規雇用の待遇是正など、さまざまな指摘を受けた。「不平等な立場の人を優先的に処遇しても差別ではない」という暫定的特別措置を、より一層、迅速に進める必要性を改めて痛感した貴重な時間となった。

(山形大学人文社会科学部ホームページ <https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/> より)



図6 チラシ



図7 研修会の様子

(5) 女性研究者の集い

男女共同参画に係る第7回（令和3年度実施）アンケート結果では、「職場に何でも話せる人がいない」と感じる女性教員は、57.9%と他の職種別、性別に比べ、最も高く、前回調査41.1%よりも上昇していた。新型コロナウイルス拡大による人とのかかわりあいの減少にも起因することも考えられるが、前回のアンケートはウイルス出現以前の実態であって、この状況の解決策を検討し、今年度、女性の教員が気軽に話せる場を設定する新たな試みを試行することとした。

第1回の申し込みは13名となり、参加動機は、女性研究者と交流をしたい、日頃の育児の困り感に助言がほしいなどであり、日ごろ感じていることなどの話題になり和やかに会は進んだ。

【第1回】

日 時：2022年2月17日（木）16:45～17:00 ※毎月第3木曜日に開催

対 象 者：全キャンパスの女性教員

参加形式：対面およびオンライン

場 所：本部棟4階第2会議室

内 容：

- 1) 自己紹介（研究分野も含む）
- 2) 話題にしてほしいこと（事前にアンケートを実施）
- 3) 次回への要望等

【第2回】

日 時：2022年3月17日（木）16:45～17:00 ※毎月第3木曜日に開催

対 象 者：全キャンパスの女性教員

参加形式：対面およびオンライン

場 所：本部棟4階第1会議室

内 容：

- 1) 自己紹介（研究分野も含む）
- 2) 話題にしてほしいこと
- 3) 次回への要望等

②-2 | 仕事と育児等との両立支援

(1) 各種保育利用料補助制度

【制度の目的】

山形大学に所属する教職員等に対し、夜間保育、休日保育、病児・病後児保育、学童保育の利用料金及び大学入学試験等の業務のための一時預かりの利用料金を補助し、仕事と育児の両立を支援することを目的とする。

【支援の対象者】

支援の対象となるのは、本学に所属する国立大学法人山形大学職員人事規程別表に掲げる職員（教員及び事務職員）で、小学校6年生までの子どもを養育する者とする。

【補助額】

補助される額は、子ども一人につき年間二万円を限度とする。

【支援の対象となる保育】

支援の対象となるのは、次に掲げる事業者（ファミリーサポートセンター等）による保育で、親族・知人によるものは除く。ただし、事業者への保育依頼が困難である場合には、ベビーシッターに保育を依頼することができるものとする。

- ① 夜間保育（延長保育を含む）
- ② 休日保育（ただし、通常保育及び延長保育を除く）
- ③ 病児・病後児保育
- ④ 学童保育
- ⑤ 大学入学試験（大学入学共通テスト・個別学力テスト・推薦入試など）の業務のために利用する一時預かり

<登録者数> 令和4年1月末日時点

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
登録者（研究者）	7名	9名	8名	8名	7名	26名
登録者（子ども）	13名	16名	15名	14名	11名	34名

<目的別利用者数（子ども）> 令和4年1月末日時点

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
夜間保育	4名	7名	3名	7名	0名	4名
休日保育	0名	1名	2名	0名	0名	3名
病児・病後児	2名	2名	3名	2名	0名	0名
学童保育	2名	3名	6名	4名	4名	20名
合計	8名	13名	14名	13名	4名	27名

(2) 研究継続支援員制度

【制度の目的】

山形大学（以下「本学」という。）に勤務する研究者が、ワークライフバランスを保ちながら研究活動を行う環境作りの一環として、研究支援員（以下「支援員」という。）を配置し、出産、育児、介護等により十分な研究活動を行うことができない研究者を支援することを目的とする。

【支援の対象者】

支援の対象となるのは、本学に所属する国立大学法人山形大学職員人事規程別表に掲げる職員及び博士研究員並びに大学院各研究科博士後期課程及び医学系研究科博士課程医学専攻に在学する学生のうち、次に掲げるいずれかの要件で研究活動に支障が生じている研究者とし、男女共同参画推進室長が認めた者とする。

ただし、博士研究員及び大学院各研究科博士後期課程及び医学系研究科博士課程医学専攻に在学する学生が支援を必要とする場合は、博士研究員及び学生の指導を担当する教員が支援員の申請及び管理等を行うものとする。（指導を担当する教員は、本学の常勤の職員とする。）

- ① 妊娠中又は小学6年生までの子供を養育している者
- ② 市町村から要介護の認定を受けている親族（同居別居は問わない。）を介護している者
- ③ その他、上記①及び②に準ずる者

【支援する内容】

- ① 支援員に依頼できる業務は、当該研究者があらかじめ申請し、審査の上、男女共同参画推進室長が決定したものとする。あくまでも研究上において真に必要な補助業務に限る。
- ② 支援員によって支援できる時間は、支援業務の内容、関連予算等を勘案し、週6時間までの範囲で男女共同参画推進室長が決定する。（申請時間が全て認められるとは限らない。）

【支援する期間と経費負担】

- ① 支援員による支援期間は、1年間（4月1日から翌年3月31日）とする。ただし、当該期間中に支援対象者としての資格要件を失った場合は、直ちに支援を終了する。
- ② 支援員の雇用に要する経費は、男女共同参画推進室が負担するものとし、採用に当たっては、「国立大学法人山形大学短時間勤務職員就業規則」又は「国立大学法人山形大学アドミニストレイティブ・アシスタントに関する規程」に定める規則を適用する。

〔利用者状況〕

<過去4年間の利用状況>

		利用者数	支援員数	支援時間数
平成30年度	前期	18人（2人）	16人	2,393時間
	後期	21人（4人）	23人	1,995時間
令和元年度	前期	21人（5人）	23人	2,024時間
	後期	19人（9人）	21人	1,740時間
令和2年度	前期	20人（8人）	20人	1,890時間
	後期	23人（9人）	21人	2,160時間
令和3年度	通年	20人（5人）	17人	4,300時間

（ ）は男性利用者内数

（3）学会参加時の保育・介護支援制度

【制度の目的】

山形大学（以下「本学」という。）に勤務する教職員等の仕事と育児・介護の両立を支援するため、学会参加時の託児、ベビーシッター、介護支援施設、ホームヘルパー等の利用料金の一部を補助することを目的とする。

【補助の対象者】

補助の対象となるのは、本学に所属する国立大学法人山形大学職員人事規程別表に掲げる職員（教員）及び博士研究員並びに大学院各研究科博士後期課程及び医学系研究科博士課程医学専攻に在学する学生で国内外の学会（付随する会議を含む）等へ参加するために託児、ベビーシッター、介護支援施設、ホームヘルパー等を利用する者のうち、次に掲げるいずれかの要件を満たすものとする。

- ① 小学校6年生以下の子どもを養育している者
- ② 要介護認定1以上の家族を介護している者

なお、研究員については、週30時間以上勤務の者に限る。

（4）女性管理職支援

【制度の目的】

女性管理職の仕事と育児の両立の支援を目的とする。

【支援の対象者】

国立大学法人山形大学管理職手当支給細則第2条第1項に規定する区分1種から5種までの女性職員で、小学6年生までの子を養育する者。

【支援の対象となる保育】

管理職等の職務の遂行に伴い必要となった保育サービス等で、主に次に掲げるもの。

- ① 夜間保育（延長保育を含む）
- ② 休日保育（ただし、通常保育及び延長保育を除く）
- ③ 病児・病後児保育
- ④ 夜間会議時のベビーシッター利用
- ⑤ 学童保育
- ⑥ 習い事に係る送迎
- ⑦ その他上記に類する保育サービス

【補助額】

上記保育サービス等の利用料金と同額を補助する

（5）女性研究者へのノートパソコン貸出し**【概要】**

山形大学では、平成23年度から山形大学男女共同参画基本計画（平成22年6月策定）に基づき、教育・研究と生活との両立のための環境整備の一環として本学の女性研究者に対して、ノートパソコンとWebカメラの貸し出しを行っております。

【申請できる方】

本学の女性の常勤研究者（教員・医員）及び本学に所属する研究者（博士後期課程学生・ポストドクター）で以下に該当する方が対象となります。

- ① 妊娠中、又は小学6年生までの子育て中の者
- ② 市町村から要介護の認定を受けている親族（同居別居は問わない）を介護している者
- ③ 勤務地の都合により、2世帯以上の生計を営んでいる者
- ④ その他、上記理由に準ずる者

(6) 保育所利用状況（入所者数）

●小白川キャンパス保育所のびのび

() は地域枠利用者の内数 *各3月1日時点

	0歳～1歳児	2歳児以上	計
令和元年3月	13人(2人)	4人(1人)	17人(3人)
令和2年3月	11人(3人)	7人(2人)	18人(5人)
令和3年3月	10人(3人)	8人(3人)	18人(6人)
令和4年3月	11人(0人)	8人(2人)	19人(2人)

●小白川キャンパス保育所つぼみ

() は地域枠利用者の内数 *各3月1日時点

	0歳児	1歳児	計
令和元年3月	10人(1人)	0人(0人)	10人(1人)
令和2年3月	10人(4人)	0人(0人)	10人(4人)
令和3年3月	10人(1人)	0人(0人)	10人(1人)
令和4年3月	8人(2人)	2人(0人)	10人(2人)

●医学部保育所すくすく

*各3月1日時点

	0歳～1歳児	2歳児以上	計
令和元年3月	7人	32人	39人
令和2年3月	9人	22人	31人
令和3年3月	14人	18人	32人
令和4年3月	14人	16人	30人

●医学部病児保育室

期 間	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児以上	計
平成30年度(4月～3月)	28人	110人	48人	127人	313人
令和元年度(4月～3月)	39人	68人	60人	100人	267人
令和2年度(4月～3月)	14人	32人	6人	46人	98人
令和3年度(4月～3月)	20人	82人	20人	56人	178人

● 庄内銀行キッズワールドあゆみ

	0～1歳児	2歳児以上	計
令和2年3月	0人	0人	0人
令和3年3月	0人	0人	0人
令和4年3月	0人	0人	0人

②-3 | 女性研究者の裾野拡大

(1) 女性研究者裾野拡大セミナー

【農学部】

「農学部ってどんなところ？～現役理系学生の話聞いてみよう！～」

日 時：令和3年7月17日（土）

会 場：農学部

参加人数：バーチャルオープンキャンパス参加の女子高校生とその保護者

申込人数78人（男性21人・女性57人） ※当日参加74人

内 容：本学部の女子学生によるウェビナー講演および質疑応答

以下の内容について、用意したスライドで説明しながら、Q&A機能で送られた質問に応じて追加で説明や紹介を行った。

- ・農学部における学生生活（鶴岡での生活、サークル活動、アルバイトなど）
- ・農学部で受講できる授業および実験実習の内容
- ・研究室と研究内容について

効 果：

- ・女子高校生対象のセミナーだが、男子高校生の申込みも受け付けた結果、多数の高校生に参加してもらえた。
- ・現役の大学生と大学院生による講演であったためか、高校生も話しやすい雰囲気のように、質疑応答が活発であった。

反 省 点：

- ・ウェビナーを使用した（受講者がモニターに映らない）ため、最初の質問が送られてくるまでは受講者の雰囲気がわからず、講演者が話しづらそうだった。しかし、70名を超える多数の参加者だったため、Zoomを使用したとしても受講者の様子を見ながら話すことは難しかったと思う。

【理学部】

○高校1年生向け 「理学部で何ができるのか？ ～女子高校生のための山大理学部案内～」

○高校2年生向け 「・理学部の研究室を覗いてみよう！」

日 時：令和3年11月30日（火）

会 場：理学部1号館12・13講義室等

参加者：144人（男性0人・女性1年生75人、2年生69人 山形県立山形西高等学校生徒）

内 容：山形大学理学部での研究・教育について、将来女性研究者となる可能性のある女子高校生に理解してもらうことを目指して実施し、具体的な目的は以下のとおりである。

- ・理学部の研究・教育内容を具体的に紹介し、より明確な理解を得る。
- ・在籍する女子学生、女性研究者の生の声を聞き、対話する機会を設けることで、将来の女性研究者増につなげる。
- ・研究室を見学する機会を設け、将来の選択肢の1つとしてもらう。

（高校1年生向け）「理学部で何ができるのか？女子高校生のための山大理学部案内」

理学部の5分野1領域から学生が参加し、研究・生活について理学部紹介を行った。

（高校2年生向け）「理学部の研究室を覗いてみよう！」

各分野・領域で希望生徒を受入れ、分野案内、実験・模擬授業等を行った。

効果・反省事項：

（高校1年生向け）

理学部各分野・領域（数理学、物理学、化学、生物学、地球環境科学、データサイエンス領域）の学生より教育・研究の紹介を行った。発表後、質疑応答を通して理学部の女子学生・女性研究者の生の声を聞いてもらった。

高校生が抱く「理学部ではどのような教育・研究が行われているの？」「進路選択の時期や決め手は？」「研究分野について興味を持ったきっかけは？」といった一般的な疑問について分かりやすく説明。研究分野以外にも学生生活についての質問などが寄せられた。

（高校2年生向け）

- ・数理学分野：「行列」について学ぼう
- ・物理学分野：物理学と化学の境界を量子力学で探究する
- ・化学分野：プラスチックを作ろう、知ろう
- ・生物学分野：光合成生物が光を集める仕組みを学ぼう
- ・地球科学分野：地球にさわろう！：室内実験とサンプル観察によるアプローチ
- ・データサイエンス領域：データサイエンスの体験実習

という内容で、各研究室が工夫を凝らした実験・講義を行った。参加者は、興味を持った分野、領域の実験室等を訪問し、これらの実験・講義を体験した。

(2) 山形大学女性大学院生ネットワーク

次世代育成・裾野拡大事業として、女性研究者をめざす女性大学院生のネットワークを平成30年度に設立した。4年目となる今年度も新規メンバーの募集を行い、新型コロナウイルス感染拡大もあったが、オンラインでの活動もおこなえながら活動した。メンバー間の交流の機会はなかったのは残念である。そのような状況でも、女子中高生理系進路選択支援事業でのメンバーの活躍は目覚ましいものがあり、参加した女子中高生は、ロールモデルを目の当たりにして刺激を受けたことが取組後のアンケートでも明らかだった。メンバーの女性大学院生にとっても、自らのキャリア形成を見つめる機会の一つになったと思われる。

【名 称】山形大学女性大学院生ネットワーク

(略称「山大JOIN」)

【対 象】山形大学女性大学院生

【登録人数】女性大学院生16名

(令和3年12月末現在)

【活動内容】

- ・7月17日開催の農学部の女性裾野拡大セミナー、「農学部ってどんなところ?～現役理系学生の話聞いてみよう!～」へ、JOINメンバーを含む大学院生が参加し、高校生と保護者(計74名参加)と交流した。
- ・11月30日開催の理学部の女性裾野拡大セミナー、「・理学部で何ができるのか?～女子高校生のための山大理学部案内～(高校1年生向け)」「理学部の研究室を覗いてみよう!(高校2年生向け)」に、山大JOINのメンバーを含め9名の大学院生、6名の学部生が参加、協力した。
- ・10月2日に山形市遊学館で開催されたサイエンス・カフェに4名のメンバーが参加、協力し、科学実験の補助と参加者との交流を行った。
- ・6月8日に山形西高校における取組に、1名のメンバーが参加、協力した。
- ・7月～1月に東桜学館高等学校における取組に、延べ12名のメンバーが参加、協力した。
- ・7月26日に米沢興譲館高校における取組に、6名のメンバーが参加、協力し、座談会では高校生と交流した。
- ・9月1日に山形北高校における取組に、1名のメンバーが参加、協力し、体験談を話した。

これらの取組後のアンケートでの「参加して良かったと思うこと」の自由記述欄には「大学院生の貴重な体験談を聞くことができ、将来がイメージできた」「女性の研究者の方々とお話ができ、大変良かった」など、この取組にメンバーが果たした役割の大きさを示す声が寄せられた。

山形大学女性大学院生ネットワーク
山大 JOIN
ジョイン
登録募集のお知らせ

女性大学院生のみならず
仲間・...として夢へと「つなぐ」
山形大学女性大学院生ネットワーク(通称:山大JOIN)の
メンバーとして、一緒に活動しませんか!

対象: 本学に在籍する女性大学院生(文系・理系問わず)

趣旨・目的
次世代のリーダーを担う女性人材の育成を目的として、女性大学院生ネットワークを構築し、参加者の相互交流を図るとともにキャリア形成を支援する。
大学院生を担う女子学生の育成を目的とした有識者会議を推進し、小中高生を対象とした次世代育成活動を行う。

活動内容(予定)
・裾野拡大事業(小中高校生向け事業)、出前授業(進路学習・探究学習含む)への参加、企画および実施
・男女共同参画推進事業(教員研修セミナー、シンポジウム、パネル展示等)への参加
・女性活躍促進企業への交換留学、企業訪問、キャリア就職セミナー、進学セミナー等のキャリアアップを目的とする研修への参加
・女性大学院生交流会への参加
・情報共有活動(活動報告や記事の執筆など)

※小中高生を対象とした取組および有識者会議の開催は時期は未定であり、「山形大学アドバンス・ストレtejイブ」イベントに集まる取組が活用されます。交流会や研修への参加は、自らのメールアドレスや所属・学年を必ず事前でメールでお知らせください。詳細は随時お知らせいたします。

登録方法
必要事項を記載のうえ、EmailまたはQRコードより
申込みください。
<必要事項> 氏名、所属、学年、Eメールアドレス

山形大学男女共同参画推進室 チーフコーディネーター柿崎
TEL023-628-4937 Email: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(3) 女子中高生理系進路選択支援事業

令和2年度に採択された、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の次世代人材育成事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の山形大学企画「ヤマガタ 夢 ☆ 未来 Girls プロジェクト」は2年目を迎えた。（期間：令和2年6月～令和3年度、補助金上限：毎年300万）。

この事業において山形県内の関係機関と連携し、県内の女子中高生の理工系進路選択の支援を推し進めてきた。実施機関業務担当として、男女共同参画推進室が参加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大のために、昨年度の推進委員会でも話題になった中学校や高校での活動、特に中学校での事業実施が見送られた。また、各市町の教育委員会との連携による、サイエンスカフェの企画についても中止になるなど、感染症の影響は大きかった。

その中でも、高校における出前講座が、新聞に掲載され（<https://kahoku.news/tag/+W> 共に生きる）、同じくその事業が全国ダイバーシティ組織のHPに取り上げられたり、FM放送などでも様々な活動が放送され、本事業の活動が周知された。

1 この企画における目的と取り組み

理工系進路選択に関心の薄い中学生・高校生を対象に、理工系の科目や仕事への関心を高めるため、山形県全域で以下の4点に取り組む。

- (1) 県内の中学校を訪問し、女性研究者・女性大学院生が実験を行う出前講座を提供し、理工系の女性が活躍している職場を紹介する。
- (2) 県内の高校を訪問し、女性大学院生が探究活動の指導や女性研究者が進路講話を行う出前講座を提供し、理工系の女性が研究している企業を紹介する。
- (3) 中高生と保護者を対象に、女性の研究者・大学院生との交流や実験に参加できるサイエンス・カフェを県男女共同参画センターと協力して開催する。
- (4) 県内全ての中学1年生（1万人）に本プロジェクトのロールモデルの啓蒙パンフレットを作り、配布する。作成には女子大学院生が参加し、インタビューを行い、記事を制作する。女子大学院生の視点で中高生に魅力的な内容のものにする。積極的にSNSを使って発信する。

2 令和3年度の取り組み内容

	月 日	実施場所	取り組み内容と参加者
1	6月8日	山形県立山形西高等学校	「講演」高校3年生198名、教員2名 講師:柿崎悦子准教授、女性大学院生1名、山形大学OG
2	7月13日～ 12月22日	山形県立東桜学館高等学校	「課題研究指導」高校2年生延べ170名、教員7名 講師:栗山恭直教授（理学部） 女性大学院生延べ12名
3	7月26日	山形県立米沢興譲館高等学校	「出前講座」講演、女性研究者と女性大学院生との交流会 高校1年生50名、高校2年生10名、教員10名 講師：黒谷玲子准教授（工学部）、女性大学院生6名
4	9月1日	山形県立山形北高等学校	「講演」高校2年生200名、教員10名 講師：柿崎悦子准教授、女性大学院生1名

5	10月2日	遊学館	「女子中高生のためのサイエンス・カフェ」科学実験、女性研究者と女性大学院生との交流会 小学生1名、中学生4名、高校生6名（親子3組）、見学者2名 講師：河合寿子助教（理学部）、野村真未助教（理学部）・女性大学院生4名
---	-------	-----	--

3 受講した生徒の感想

サイエンス・カフェに参加した生徒からは、初めて知ることも多くとても充実した時間となったという感想があり、理系分野への興味関心が高まったことがうかがえる。また、身近な材料を取り上げた実験であり、知ることの面白さを味わったというとてもうれしい感想もあった。

4 取り組み前後のアンケート調査

各取り組みの前後に、参加生徒、教員、保護者にアンケートを依頼し、理系進路へのきっかけや障壁などを多面的に把握している。（事後アンケートに関しては、JSTアンケートを使用）。

5 支援終了後の活動

支援終了後も毎年開催する継続的な取組は、下記のとおりである。

- ・チェリアフェスティバル等におけるサイエンスカフェの開催
- ・Beラボにおける女性研究者の中学校訪問実験
- ・高等赤穂dの探究活動の指導
- ・HPでのロールモデルの掲載
- ・保護者向け講演会
- ・保護者と女子中高生の企業訪問

6 ヤマガタ夢☆未来Girlsプロジェクトのホームページ

ホームページを開設し、アドレスは以下のとおり。

<https://yumemirai-girlsproject.aiyweb.com/>



図1 サイエンス・カフェ



図2 米沢興譲館高校の交流会

(4) 令和3年度基盤共通教育・ジェンダー関連授業

令和3年度基盤共通教育「キャリア形成とワーク・ライフ・バランス」(山形から考える)

1 テーマ

- (1) 山形で活躍する方々の経験に基づいた講義をとおして、男女が共に仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を保てる働き方について考え、自らのキャリア・ビジョンを描くことを目的とします。
- (2) 「男女共同参画社会」について深く理解し、どのような課題をどのように解決するのか具体的に考えることを目的とします。

2 講師一覧(敬称略)

授業時間割 後期 水曜日7校時(14:40~16:10)

	月日	講師名	プロフィール等
1	10月20日	草苺 早苗 山形市男女共同参画 センター所長	山形市役所1988年採用。まるごと推進課長、地籍調査室長を経て2018年度より現職(次長兼所長)。「いきいき山形男女共同参画プラン」に基づき、取組を進める。家族は義母と専業主夫の夫、高校生の息子。
2	10月27日	菅藤 健一 学術研究院教授 (地域教育文化学部)	専門は犯罪心理学・臨床心理学。東北地方の少年鑑別所を中心に国家公務員として勤務する。仕事をしながら学位を取得する(博士 教育学)。法務省を定年退職後、2018年4月山形大学に採用される。
3	11月10日	赤間 由美 学術研究院助教 (医学部看護学科)	公衆衛生看護学を担当。特に生活保護ケースワーカーのメンタルヘルス支援をテーマとした研究を行う。市町村保健師を経て大学教員となり、2015年より現職。家族は夫と子ども(1歳)。
4	11月24日	小倉 泰憲 学術研究院教授 (理学部)	学生や産業現場で働く人を対象とし、キャリア教育とキャリアアカウンセリングを実践。大学で音響工学を学び、企業でエンジニアとして勤務。その後、社会人大学院で心理学を学び、山形大学教授に転職。
5	12月1日	濱 定史 学術研究院助教 (理工学研究科)	専門は木造建築構法、改修再生設計。伝統的な木造建築について、研究および設計活動を行う。山形と東京の2拠点居住。妻と娘は東京で暮らす。
6	12月8日	渡辺絵理子 学術研究院准教授 (学士課程基盤教育機構)	専門は細胞生物学、発生学。ゲノム編集技術を用いて両生類の受精機構を調べ、様々な受精様式がどのように確立されてきたのかについて研究を行なっている。任期付研究員や民間企業を経て2011より現職。
7	12月15日	西岡 正樹 学術研究院教授 (人文社会科学部)	専門は刑法。東北大学大学院法学研究科博士後期課程修了後、同大学院助教を経て、2010年4月に山形大学に赴任。現在は、妻と娘(5歳)との3人暮らし「休日には可能な限り娘と遊ぶ」をモットーとしている。
8	12月22日	陳 奥飛 学術研究院助教 (農学部)	専門は農業経済学、フードシステム論。農産物の取引形態や、農産物生産者や、食品企業、消費者などの意識分析などについて研究している。大学を卒業後、1年間の研究員を経て大学教員に至る。

3 受講した学生の感想

文系や理系分野を問わず、経験豊かな先生方の話を聞くことができ、男女共同参画社会の一員として、将来の職業のことだけでなく、視野を広げたキャリア・ビジョンを持つことができたという内容の感想が多かった。大学に入学して、今後のキャリア形成について考える気づきがあったようである。

また、新聞レポートの作成によって、社会での事象にたいする関心も高まり、レポート発表によって他の意見や考えを聞く力、発表する力などのコミュニケーション力がついたとの感想も多かった。対面で授業を受け、人と交流することができて大変有意義だったとの感想もあった。

4 授業パンフレットの発行

平成29年度より、『キャリア形成とワークライフバランス（山形から考える）』探究ノート」を年度末に発行している。各講義の内容と学生の授業記録をまとめた内容で、学生、教職員、一般の方に配布し、男女共同参画社会やジェンダーについて考える契機になっている。

(5) フレックス大学院・キャリア就職活動セミナー

昨年に引き続き、山形大学フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院が主催する「キャリア・就活セミナー」と連携した。学生の就職・進学、修了後のキャリアパスを思い描く機会であり、博士後期課程・前期課程在籍者および大学院進学を考える学部学生が対象である。推進室では、連携によって、修了後のキャリアパスを思い描く女性ポストドクター、女性大学院生の育成と、博士課程進学への関心を高めることを目指している。

オンラインにて2回開催されたが、大学院生が運営に参画し、充実した内容で行われた。

【第1回】

日 時：2021年7月28日（水）13:00～15:10

場 所：オンライン形式

内 容：

- ・キャリアセミナー 講師：松坂暢浩准教授（学士課程基盤教育機構）
コメンテーター：山本美奈子准教授（学資家庭基盤教育機構）
- ・キャリア形成セミナー 講師：柿崎悦子准教授（男女共同参画推進室）
- ・先輩方による講演 3名
- ・質疑応答

対象：博士5年一貫コース生、博士後期・前期課程学生、研究員（ポストドクター）、大学院進学を考える学部生

主催：博士課程5年一貫教育プログラム「フレックス大学院」及びフロンティア有機材料シス

テム創成フレックス大学院コース

共催：米沢キャンパスキャリアサポートセンター、山形大学男女共同参画推進室

【第2回】

日 時：2021年11月18日（木）16:00～17:50

場 所：オンライン形式

内 容：

- ・オープニングトーク 横山道央准教授（フレックス大学院就活担当）
- ・先輩方による講演 3名
- ・質疑応答

対象：博士後期・前期課程学生、研究員（ポストドクター）、大学院進学を考える学部生

主催：博士課程5年一貫教育プログラム「フレックス大学院」及びフロンティア有機材料システム創成フレックス大学院コース

共催：米沢キャンパスキャリアサポートセンター、山形大学男女共同参画推進室

②-4 | 女性研究者の研究力向上

（1）女性・若手研究者研究交流会

山形大学では、2015年度から2021年度まで、文部科学省の「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の事業の取組の一つとして、2020年度から男女共同参画推進室と山形大学COIが連携し、女性・若手研究者の活躍促進を目指して、「SDGs×COI若手・女性研究者交流会～SDGsの観点からの研究交流～」を開催してきた。学内外の様々な分野の研究者が参加し、「持続可能な開発目標（SDGs）」の観点で議論し、共同研究・社会実装に発展している。

今年度は、ダイバーシティ事業終了後の中でこの取組を発展させるために、学内外の交流も目指してYU-SDGsカフェとして開催し、山形大学の女性・若手研究者が、SDGsの観点から研究発表を行った。

日 時：令和3年12月16日（木）15:30～17:00

形 式：Zoomウェビナー（視聴のみの参加も可）（オンデマンド配信もあり）

関係者の会場：山形大学 米沢キャンパス 工学部11号館2F 未来ホール

対 象：次の大学・機関の教職員・学生を含む一般（企業、自治体、教育機関、NPO等）山形大学、大学コンソーシアムやまがた、連携機関（DNP・米沢栄養大学）

主 催：山形大学 YU-SDGsタスクフォース

共 催：山形大学男女共同参画推進室、山形大学COI
内 容：

- ・開会の挨拶 林田光祐副学長
- ・趣旨説明 原田知親助教（山形大学学術研究院）
- ・発表（各15分 質疑含む）
 - 山形大学学術研究院准教授 鍋島 朋之（農学部） SDGs目標2 関連
「干渉効果を利用した植物防護への取り組み」
 - 山形大学学術研究院講師 三原 法子（地域教育文化学部） SDGs目標3.9関連
「栄養指導における『見える化』を体感できるIoT食器の研究開発」
 - 山形大学学術研究院講師 伊関 千書（医学部内科学第三講座） SDGs目標3 関連
「シート型ベッドセンサによる睡眠深度計測から神経疾患患者の潜在的な睡眠障害を探る」
 - 山形大学工学部研究支援員 土屋みなみ（NPO法人AYINA） SDGs目標17関連
「農業×ICT in ケニア 事例紹介」
- ・パネルディスカッション ファシリテーター 原田 知親
- ・閉会の挨拶 柿崎悦子准教授（男女共同参画推進室）



(2) SDGsカフェ

今年度は、山形大学が掲げる「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」の3つを使命を基に設けられたYU-SDGs EmpowerStationの取組の一つであるSDGsカフェに参加した。男女共同参画およびダイバーシティの推進を謳う山形大学の第2次男女共同参画推進計画にも沿う、新たな試みとなった。当日は、高校生の参加もあり、93名の参加であった。この開催後、多様な性に関する相談活動の取組充実にも発展した。

【第3回 YU-SDGsカフェ「みんなで考えよう！SDGsとダイバーシティ」】

開催趣旨：

今回のYU-SDGsカフェでは、主にSDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」を取り上げます。どうしてSDGsは日本に関係ありますか？から始めて、ジェンダー平等って何？どうして日本の大学の女性研究者は少ない？のトピックを一緒に考えて議論しましょう。スピーカーだけが発表するのではなく、誰でも参加できるディスカッションスタイル、参加者からの声や意見を聴きながら、座談会形式で行う予定です！もちろん、聴くだけの方もぜひwelcomeです！差別がない世界、

輝ける将来を創るために、みんなと一緒に協力しましょう！

(ファシリテーター Karolin JIPTNER)

主 催：YU-SDGsタスクフォース

開催概要：

- ・日時：2021年10月25日（月）17:00～18:00
- ・形式：Zoomウェビナー（視聴のみの参加もOK）（オンデマンド配信も予定）
- ・対象：山形大学教職員・学生、一般の皆様、他大学の学生、高校生など
- ・ゲストスピーカー：小林直美（愛知工科大学、前山形大学男女共同参画推進室）
- ・スピーカー：野々村美宗、柿崎悦子、中澤未美子（以上、山形大学）
- ・ファシリテーター：Karolin JIPTNER（山形大学、YU-SDGsタスクフォース）

内 容：

- 1) どうしてSDGsは日本に関係ありますか？
- 2) 山形大学の現況
- 3) Diversity-more than just gender equality->LGBTQ+
- 4) カラフルCaféの活動について（人文社会学部担当池田弘乃准教授）ほか



②-5 | 学生生活への支援

(1) 多様な性に関するガイドライン

山形大学では、第2次山形大学男女共同参画基本計画（令和2年4月施行）において、男女共同参画及びダイバーシティを一層推進し、「個々の性別、性的指向・性自認等にかかわらず、本学の学生及び教職員が自然にお互いを認め、受け入れることができる組織を目指す」ことを掲げており、様々な取組を行っている。

令和3年2月には、「多様な性に関するガイドライン」を作成し、「多様な性」について、本学の姿勢、現段階での具体的な対応、これから対応する必要がある事柄などを示した。

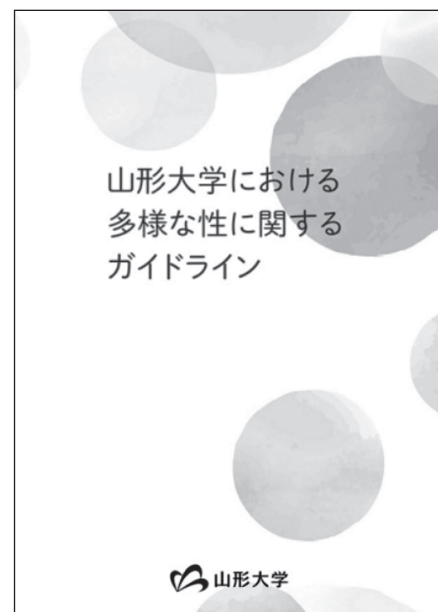


図1 ガイドライン（パンフレット）

また、本学の各キャンパスには「多様な性に関する学内の相談窓口」が設置されており、多様な性が尊重されていないと感じる場面や深く悩んでしまうような出来事が起こった場合など、相談を随時受け付けている。なお、令和3年の相談件数及び相談窓口は以下のとおり。

そのほか、4月に本学附属小・中学校及び特別支援学校において女子児童・女子生徒の制服にスラックスを採用したところ、実際に女子生徒もスラックスを着用するようになった。また、相談があった場合の対応に向け担当者内の研修会を複数回実施し、多様な性が尊重される環境を実現するための活動に取り組んでいる。

・多様な性に関する相談件数

(令和3年4月～令和3年12月)

	相談件数 (延べ数)
学 生	25
教職員	0

・相談窓口一覧（電話は平日の9時から17時）

所在地	名 称	連絡先
小白川キャンパス	男女共同参画推進室	023-628-4937
		yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
	保健管理センター 小白川学生相談室	023-628-4154
		yu-nsroom@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
	総務部労務課	023-628-4022
		yu-soudan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
米沢キャンパス	工学部保健管理室 学生相談室	0238-26-3034
		sodan@yz.yamagata-u.ac.jp
飯田キャンパス	医学部保健管理室	023-628-5981
		yu-ihoken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
鶴岡キャンパス	農学部保健室	0235-28-2817
		yu-nouhoken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
附属学校	附属幼稚園保健室	023-641-4446
		cocoro.karada@fuyo.yamagata-u.ac.jp
	附属小学校保健室	023-641-4444
		cocoro.karada@fusho.yamagata-u.ac.jp
	附属中学校保健室	023-641-4440
		cocoro.karada@fuchu.yamagata-u.ac.jp
	附属特別支援学校保健室	023-631-0918
		cocoro.karada@med.id.yamagata-u.ac.jp

(2) 生理の貧困

経済的に困窮し生理用品の購入に苦慮している本学学生に対し、学業に専念できる環境を整えることを目的に、エンrollment・マネジメント部学生支援課と連携し、生理用品の無償配布を実施した。

配布にあたり、アンケートで生理用品が必要な学生の人数を把握し、その後、YUポータル、大学ホームページ等へのお知らせ・ポスターの掲載、各キャンパスでのポスター掲示により、学生へ周知した。また、配布場所を、保健管理センター及び各キャンパスの保健管理室・保健室とし、希望学生は、配布場所で声を掛けるほか、お知らせ・ポスターを提示することにより無言でも生理用品を受け取ることができるようにするなど、気兼ねなく受け取れる環境にも配慮した。

学生からは「日常的に使用する必需品なので頂くことができ嬉しい」と純粋に喜ぶ声が大多数であったが、中には「経済的に困っている学生に渡してほしい」と他の学生を思いやり遠慮する学生も見受けられた。アンケートでは「経済的負担が軽減されて助かった」との切実な感想も見られ、本学には不安を抱えて生活している学生が少なからず存在しており、その学生が学業を断念することなく大学生活を営めるような支援事業を継続して実施していく必要性を感じる結果となった。



図2 配布物

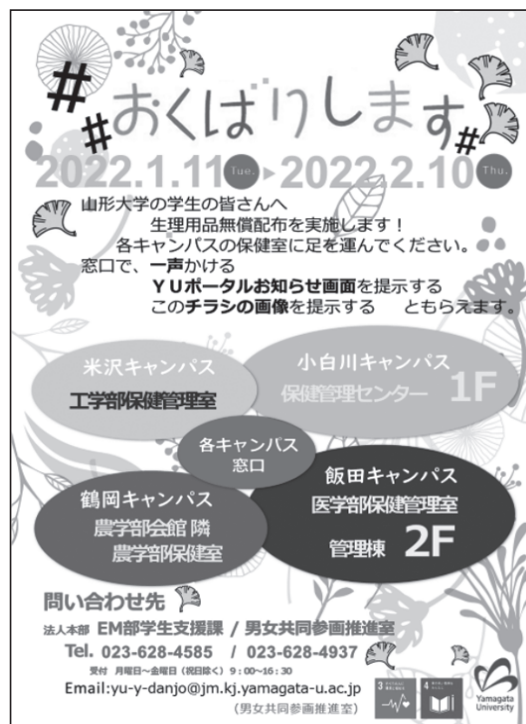


図3 ポスター

・生理用品配布数

	令和3年度 (R4.1.11~R4.2.10)
全キャンパス合計	401セット

②-6 | ダイバーシティ事業3機関との連携

(1) 連携

平成27年度から令和2年度までの「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」事業の成果の継続のため、緩やかな連携として、令和3年4月28日付で「国立大学法人山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学によるダイバーシティ研究環境の推進に関する協定書」が調印された。以下のような事業を案内、連携した。

- ・山形大学男女共同参画セミナーの案内 令和3年6月28日（月）（オンライン）
- ・山形県立米沢栄養大学科研費獲得セミナー 令和3年8月5日（木）
講師：今村真央教授（山形大学人文社会科学部）
- ・YU-SDGsカフェ 女性・若手研究者研究交流会 令和3年12月16日（木）

(2) 事後評価面接審査

令和3年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」事後評価面接審査が、下記のとおり実施された。

日 時：令和4年1月7日（金）13:30～13:50（説明10分、質問10分）

場 所：山形大学 学長室、大日本印刷研究開発センター、米沢栄養大学

発表者：学長 玉手英利、理事 花輪公雄、前チーフ・コーディネーター（COI）井上榮子
大日本印刷研究開発センター部長 大野浩平、米沢栄養大学理事 大和田浩子

発 表：学長 玉手英利 10分

質疑応答

②-7 | アウトリーチ活動

機 関 等	連 携 内 容
大学コンソーシアム やまがた	① 大学コンソーシアムやまがた ・幹事会 日時：令和3年7月30日（金）（オンライン） ・総会 日時：令和3年8月5日（木）（オンライン） ② 大学コンソーシアムやまがたダイバーシティ推進ネットワーク会議 日時：令和3年10月22日（金）（議長：柿崎悦子准教授） ・男女共同参画推進状況アンケート調査 10月～11月
山形県男女共同参画センター チェリア	① チェリアフェスティバル山形2021実行委員会（柿崎悦子准教授） 第1回 日時：令和3年4月24日（土） 第2回 日時：令和3年5月29日（土） 第3回 日時：令和3年8月21日（土） 第4回 日時：令和3年10月23日（土） ② チェリアフェスティバル2021 サイエンス・カフェ（柿崎悦子准教授） 講師：河合寿子氏（山形大学助教）、野村真未氏（理学部助教）、山大JOIN 日時：令和3年10月2日（土） ③ チェリアフェスティバル山形2021 講演会（柿崎悦子准教授） 講演：白河桃子氏（相模女子大学大学院特任教務、昭和女子大学客員教授） 日時：令和3年10月3日（日）
山形市企画調整部 男女共同参画センター	① 男女共同参画に関する作品募集 基盤共通教育科目受講学生 ② 男女共同参画に関する作品入賞 表彰式 日時：令和3年11月13日（土）
天童市	① 天童市市民の集いサイエンス・カフェ（柿崎悦子准教授） 講師：野村真未氏（理学部助教）、山大JOIN 日時：令和4年2月20日（日） ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
米沢市	① 米沢市訪問（副市長）（柿崎悦子准教授） 日時：令和3年7月1日（木） ② 山形大学COI共催（柿崎悦子准教授） 社会実装会議 日時：令和3年8月2日（月）（オンライン）
山形県産業労働部 雇用・コロナ失業対策課 女性賃金向上・県内定着促進室	① 山形県若年女性県内就職・定着協議会（委員：柿崎悦子准教授） 日時：令和3年9月2日（木）
山形県しあわせ子育て応援部 女性・若者活躍推進課	① やまがた女性活躍応援連携協議会（委員：柿崎悦子准教授） 日時：令和4年3月2日（水）
全国ダイバーシティ ネットワーク組織	① 全国ネットワーク組織・臨時幹事会（花輪公雄理事、柿崎悦子准教授） 日時：令和3年7月16日（金）（オンライン） ② 全国ネットワーク組織・幹事会（柿崎悦子准教授） 日時：令和3年11月16日（火）（オンライン） ③ 全国ダイバーシティシンポジウム（柿崎悦子准教授） 日時：令和3年12月8日（水）（オンライン）
全国ダイバーシティ ネットワーク組織 東北ブロック	① 東北ブロック会議幹事会（花輪公雄理事、柿崎悦子准教授） 日時：令和3年11月1日（月）（オンライン） ② 東北ブロック勉強会（柿崎悦子准教授） 日時：令和3年12月11日（土）（オンライン）

機 関 等	連 携 内 容
女子中高生理系進路 選択支援事業	①山形県立山形西高等学校講演会 講演：柿崎悦子准教授、山大OG 日時：令和3年6月8日（火） ②米沢興譲館高等学校出前講座 講師：黒谷玲子氏（工学部准教授）、山大JOIN 日時：令和3年7月26日（月） ③山形県立山形北高校講演会 講師：柿崎悦子准教授、山大JOIN 日時：令和3年9月1日（水） ④山形県立山形北高校保護者対象講演会 講演：柿崎悦子准教授 日時：令和3年12月11日（土）～12月20日（月）動画配信 ⑤チェリアフェスティバル2021 サイエンス・カフェ（柿崎悦子准教授） 遊学館 日時：令和3年10月2日（土） ⑥JST全体報告会（栗山恭直教授、柿崎悦子准教授） 日時：令和4年1月10日（月・祝）（オンライン）
その他	①西置賜倫理法人会講演 講演：柿崎悦子准教授 日時：令和3年8月18日（水） ②米沢倫理法人会講演 講演：柿崎悦子准教授 日時：令和3年11月4日（木） ③東北活性研山形シンポジウム パネリスト：柿崎悦子准教授 日時：令和3年11月25日（木）

②-8 | 広報活動

【ホームページ】

男女共同参画推進室の事業の一層の理解と制度の利用促進のため、セミナーなどの案内や制度の変更等について随時更新を行った。男女共同参画及びダイバーシティにかかわる本学主催のセミナーや、本学関係者が関係するセミナーや書籍などの広報にも力をいれた。

【ニューズレター】

山形大学男女共同参画推進室発行のニューズレターには、学内の様々な事業報告を掲載した。また、女性研究者の活躍も掲載した。

【パネル展での広報】

山形大学男女共同参画フェスタは、新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。

【新聞報道】

女子中高生理系進路選択支援事業について、次の記事が紹介された。

・令和3年8月21日 河北新報

「増やせ！理系女子女子 『身近なモデル』 出前講座 教員の越地概念を問い直す」

山形県立米沢興譲館高等学校における出前講座についての記事であり、東北大学TUMUGにも紹介された。

【全国ダイバーシティネットワーク組織ウェブサイト】

平成30年11月に「全国ダイバーシティネットワーク組織」が設置され、令和元年にウェブサイトOPENeDが開設された。本学の取組が参考事例として掲載されており、令和元年度より、山形大学の女性研究者採用情報をリンクしている。

令和3年度は、上記、河北新報の記事が、東北ブロック活動の中で紹介された。また、本学のGood Practiceについても掲載された。